

平成 17 年度

人間行動科学専攻

コース名	氏名	修士論文名
教育文化情報学	吉川 紗代	リュティにおける昔話の様式理論 ——昔話の形式概念と美学的意味の検討——
	和田 悦子	「痕跡」としての言語 ——J. デリダの「現前の形而上学」批判を出発点として——
	黄ケイ誼	日本における中等教育の理論と展開 ——中高一貫教育に向けて——
	南部 恵美	異文化理解教育における平和学習の質的調査研究 ——11歳児国際交流「ヴィレッジ」をフィールドとして——
人間関係行動学	平野 裕子	小学校就学期における環境移行 — 子どもと教師の相互適応の視点から—
	李 陽子	在日朝鮮人女性の「結婚」語り — <境界>を生きる経験—
	荒木 由弥	授業者の発する「私メッセージ」の研究
	岩波 奈緒	幼児はA I B Oの感情や生命性をどうとらえているのか ～ウサギ・玩具犬との比較から～
	奥村 美奈	空間枠組みからみた鏡文字現象
	加藤 奈美	4・5才児クラスにおける子ども同士のいざごどと解決行動 —2年間にわたる継続的自然観察より—
	北野 享子	自閉的傾向のある子どもたちの自我のはじまり —<能動-受動>のやりとりからみる—
	木村 裕美	養育者にとってのトイレトレーニング —しんどかったこと・うれしかったこと—
	倉中 晃子	夢をめぐる親子会話に関する研究
	松本 尚子	日常的な健康保持の工夫について —「ストレス」の通俗理論をとらえる—
スポーツ科学	山本 智子	思春期／青年期の子どもをもつ母親の語り —子どもとの相互関係による母親の発達の見点から—
	高德 希	肘関節における素早い屈曲動作切り換え時の運動制御
	福井 美奈	ダンス／ムーブメント・セラピーにおける小道具の有用性

平成 18 年度

人間行動科学専攻

コース名	氏名	修士論文名
教育文化情報学	高山 佳子	受動性としての主体性 ——E. レヴィナスにおける「可傷性」の概念を中心に——
	亀谷和歌子	学級における居心地のよさに関する研究 ——小学校の学級風土を手がかりに——
	項 丹	中国の中学・高校生の親子関係に関する調査研究 ——コミュニケーションの心理構造から——
	元根 朋美	大学の理念の成立と展開 ——大学解放の理念的構築に向けて——
	人間関係行動学	城井 協子
人間関係行動学	有友 博美	中学生の未来イメージと科学観との関係を探る
	大西 恵子	育児における両性の共同関係に関する研究
	河上 文	においや味は絵で描けるか ——視覚的思考の再考——
	小島 道子	ロールシャッハテストに関わる体験的精神分析的アプローチからの 意義についての探索的研究
	松橋恵理子	中年期の女性は自分の母親との関係をどのように捉えているのか
スポーツ科学	由上三千代	場所と人間の情緒的なつながり
	鈴木希世子	児童期における身体活動の程度と中年期の運動に対する態度との関 連について
	中田 千穂	「障害者スポーツ」の普及による身体の可視化・不可視化 ——「日常的出会い」の再考——
	前坊いと子	開発途上国に対する体育・スポーツの分野に関する考察 ——海外青年協力隊(スポーツ部門・水泳)における隊員報告書の分析か ら——
	松本 範子	競技パフォーマンスとコンディショニングとの関連について ——栄養・生理・心理学的指標をもとに——
宮本 梓	山村への定住と安定的雇用形態 ——岐阜県郡山市明宝地区・めいほうスキー場の事例——	

平成 19 年度

人間行動科学専攻

コース名	氏名	修士論文名
教育文化情報学	米田 恵	「市民権」の開放可能性 ーフランス移民政策をめぐってー
教育文化情報学	泉 奏良	日本語における「声に出して読む」言語活動の意義と可能性 ーO. F. ボルノーの言語思想と日本語言語学的特徴の考察を通してー
教育文化情報学	角廣 涼子	女子大学生の生命倫理観に関する調査研究 ー当事者意識の形成に向けてー
教育文化情報学	周 欣嫻	日本と台湾の小学生の郷土意識に関する比較調査研究
教育文化情報学	秦 莉	総合的な学習における国際理解教育の理論的・実証的研究
教育文化情報学	巴 丹丹	日中大学生における英語学習ストラテジーの比較調査研究 ーストラテジーの選択に及ぼす文化的影響をめぐってー
教育文化情報学	水田 真由	ヴァルドルフ教育における色彩体験の人間形成的意義 ーR・シュタイナーの色彩論の思想史的検討を通してー
人間関係行動学	久保 美知子	青年期女性におけるサブカルチャーを通じて集うことの意味 ー<普通>ということの意識化に着目してー
人間関係行動学	船槻 さやか	小学校高学年女子における仲間関係の変容 ー「何かをすること」と「誰といること」の目的-手段の転換ー 休み時間の充実感と“はしゃぎ”
人間関係行動学	板谷 あゆみ	ー小学生における学年比較ー
人間関係行動学	今飯田 路恵	子どもは自己の“意図”を行為の結果にかかわらず認めることができるか
人間関係行動学	内池 千佳	母から子に人形遊びはどのように伝えられるか ー1歳児の縦断的ビデオ観察からー
人間関係行動学	北 久美子	子どもは聞いた物語をどう語るか ー母親とのやりとりに着目してー
人間関係行動学	田中 亜季	中学生における不登校意識と学校適応・自己肯定感との関係について
人間関係行動学	田中 麻依	演劇において「演じる」ことの創造的体験としての意味について
人間関係行動学	畠山 直子	対象関係の観点からみた現代の若者の性格傾向について
人間関係行動学	針多 暁子	アスペルガー症候群に関する第一印象形成の観点からの検討
人間関係行動学	平田 有佳	人は酒を飲んだときのことをどのように思い出すか
人間関係行動学	古川 まり子	子どもを学びへとつなぐもの ー参加型学習の可能性ー
人間関係行動学	松永 恵美	幼児は仲間にとどのように教えるのか ー一輪車の練習場面の観察からー
スポーツ科学	大藪 もも	近代日本の着物をめぐる身体へのまなざし
スポーツ科学	藤堂 美香	近代日本における歩行術と歩行教育に関する考察
スポーツ科学	秋山 雅美	スポーツ中継の映像転換が誘発する眼球運動特性に関する一考察

スポーツ科学	加藤 みく	大学生の日常生活におけるストレスコーピングについて
スポーツ科学	酒井 茉帆	スキルにおける認知・運動要因の精神生理学的研究
スポーツ科学	杉岡 まどか	ダンス・ムーブメントセラピーのセッションにおける使用言語の分類
スポーツ科学	啜 素代	女子大学生の主観的健康統制感と生活経験との関連性